

# 天候不順で景気低迷、さらに先行き不安が高まる

## 8月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

### 概況

長雨等の天候不順による売上低迷や客足減少等、バラツキはあるものの各業種に悪影響を及ぼしている。また、慢性的な人手不足による人件費負担増が収益を圧迫しており、苦戦を強いられている。さらに、原材料価格の上昇や公共工事の減少等、懸念事項も散見されており、先行き不安が高まりつつある。

製造業	食料品		パンは涼しい日が続いたことで売上が増加するも、人件費の高止まり等で収益は伸び悩んでいる。菓子はお盆等で客足が増加するも、売上は横ばい状態となる。製麺は天候不順で苦戦しており、素麺や冷麦等の夏用商材の動きが鈍い状況。食肉は相場が比較的高値で推移したことにより、売上は増加傾向にある。
	繊維・同製品		桐生織物は婦人服地及び輸出向けが低調に推移する中、和装織物は天候不順により伸び悩んでいる。ニットは店頭の上不振による今後の受注低迷を不安視している。繊維製品は新規取引等による受注が見られるも、小ロット化や支払い条件の悪化等で業況の回復感は乏しい状況。
	窯業・土石製品		コンクリートブロックは天候不順の影響で出荷状況は伸び悩んでいる。コンクリート製品は維持・補修を目的とした公共工事へのシフトで、売上が減少傾向にある中、低価格競争による収益悪化が散見されている。砕石は吾妻地域においては、八ツ場ダム関連工事で好調となるも、全体として横ばい状態が続いている。
	機械・金属		SUBARU関連企業で繁忙が続くなど、自動車関連企業は依然として好調に推移している。一方で人件費負担増などで収益が圧迫され、厳しい経営を強いられる場面も散見される。鍍金は取引先の長期休暇等で設備稼働度が低下しているものの、自動車関連の受注については順調に推移している。
	その他の製造業		木材は長雨による原料不足や虫害の増加で製品率が悪化する一方で、仕入コストの上昇が収益を圧迫している。紙加工品は売上が伸び悩む中、古紙価格の上昇に伴う今後の業界動向を注視している。ゴムは自動車メーカーによるEV車へのシフトの動きが業界に与える影響を不安視している。
非製造業	卸売業		高崎卸は採用活動が終盤に差し掛かる中、人手不足感の高まりで苦戦を強いられている。医療機器卸は修理や保守等の業務で売上が増加するも、全体として収益状況は悪化している。農産物卸は長雨の影響で良品の価格が高騰するも、生育不足に伴う出荷時期の後退により、お盆需要に間に合わず売上が落ち込んでいる。
	小売業		家電小売は天候不順により夏物家電の販売に苦戦している。自動車オークションは出品台数・成約率ともに上昇しており、手数料収入も比較的順調に推移している。生花小売はお盆需要による卸値の高騰で、商材の確保に苦戦する場面が散見される。商店街は長雨等による天候不順の影響で客足は伸びず、売上は減少傾向。
	サービス業		温泉旅館は天候不順による悪影響が一部で見られるも、入込数は比較的安定している。不動産取引は、新築を除く賃貸アパートの空室解消が進まず賃料は下落傾向にある。また、空家の市場流通は、通常の中古住宅とは異なり、登記未了の物件や法令上の制限等、活性化に向けた課題が散見される。
	建設業		解体工事は公共工事の受注等で仕事量は増加傾向にある反面、人手不足の深刻化により、受注を断るケースが一部で見られる。塗装工事は仕事量・売上ともに増加傾向となるも、官公庁関連の受注や大規模な改修工事が減少している。鉄構は都市部の好調が目立つ反面、地方は物件が少なく、地域間格差が拡大している。
	運輸業		夏季休暇等で稼働日数が少ない中、天候不順による飲料水の需要減少や、野菜の収穫不足で輸送量が減少傾向にある。また、運転手不足が懸念される一方、労働時間短縮に向けた高速道路利用の増加等が収益を圧迫している。小型運送は医薬品や食料品の輸送が好調を維持しており、遠方輸送の依頼も増加傾向にある。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

### 県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 107.6(前月比▲4.1%)「県統計課・7月」
- 住宅着工戸数 1,205戸(前年同月比▲2.2%)「県建築住宅課・7月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規2.27倍:有効1.57倍「群馬労働局・7月」
- 大型小売店販売額 204億円(前年同月比▲0.2%)「経済産業省・7月」
- 消費者物価指数(全国) 100.1(前年同月比+0.4%)「総務省統計局・7月」  
(鉱工業生産指数は22年=100とした指数・消費者物価指数は27年=100とした指数)